



TITLE:

かりん 第3号

AUTHOR(S):

京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館

---

CITATION:

京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館. かりん 第3号. かりん 2010, 3

ISSUE DATE:

2010-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/134558>

RIGHT:

# かりん

Kyoto University Jinkan-Soujin Library Bulletin

No.3  
2010



## 目次

### 人環・総人図書館の一年間

#### 巻頭言

筆記する . . . . . 川島 昭夫 01

#### 声

古びた書物をひらけば . . . . . 西村 木綿 02

私のお気に入り、人環・総人図書館 . . . . . 原田 久人 03

#### 漢籍目録紹介

いまなぜ『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』なのか . . . . . 松浦 茂 04

#### 原書を読むチカラ

原典にあたる必要性 . . . . . 河崎 靖 05

チカラは最初から具わっている(ただし朝鮮語の場合) . . . . . 小倉 紀蔵 06

連想された力 . . . . . 中森 誓之 07

#### 自著を語る

『人間形成にとって共同体とは何か・自律を育む他律の条件-』 . . . . . 岡田 敬司 08

『カエル・サンショウウオ・イモリのオタマジャクシハンドブック』 . . . . . 松井 正文 09

#### 所蔵資料紹介

新しい漢籍と古い漢籍-三高蔵書の特色について- . . . . . 道坂 昭廣 10

#### 寄贈図書

大型コレクション . . . . . 13

#### 情報収集のコツ

図書館の活動 . . . . . 15

#### 図書館の活動

19

# 人環・総人図書館の一年間

	行事等	情報リテラシー支援
2010年 1月	・第6回図書委員会[1/12] ・第12回環on映画会[1/15]	
2月	・第13回環on映画会[2/23]	・RefWorks講習会[2/9] (10人)
3月	・第14回環on映画会[3/16] ・タイルカーペット張替え工事[3/25～30] ① ・『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』 発行[3/30]	①タイルカーペット張替え工事
4月	・定例休館日を月末から28日に変更 ・南棟5・6書庫を新設(吉田南総合館地下1階) ・上海師範大学へ図書寄贈(約6,200冊) ・第1回図書委員会[4/12] ・第15回環on映画会[4/28]	・"Library Guide 2010"発行[4/1] ・全学共通教育ガイダンス[4/2～6] ② ・人環・総人図書館ウォークラリー [4/5～30] (189人)
5月	・開南大学へ図書寄贈(約5,000冊) ・第16回環on映画会[5/20]	②全学共通教育ガイダンス
6月	・第17回環on映画会[6/28] ・データベース"The Bible in English" トライアル[6/28～7/31]*	・レポートを書こう! KULINEとCiNiiを 使いこなすために[6/24～25, 6/29～30] (18人) ③
7月	・第18回環on映画会[7/9] ・第2回図書委員会[7/14]	・Lexis Nexis Academic講習会[7/22] (6人)
8月	・オープンキャンパス[8/11] (240人) ・データベース"British Periodicals"導入[8/12] ・蔵書点検[8/12～16]	③レポートを書こう!
9月		
10月	・データベース"19th Century British Library Newspapers"トライアル[10/1～11/30]** ・第19回環on映画会[10/20]	・図書館利用について総合人間学部 授業1コマ担当[10/19]
11月	・人間・環境学フォーラム(環on会場)[11/1～5] ④ ・第20回環on映画会[11/5] ・第3回図書委員会[11/10]	④人間・環境学フォーラム
12月	・「かりん：京都大学人環・総人図書館報」発行[12/1]	
2011年 1月～3月		

( )内的人数は参加者数。

## ●南棟5・6書庫の新設

書庫の狭隘化のため、吉田南総合館地下1Fに新たに5・6書庫が設置されました。この増設に伴い1～4書庫において資料の配置が変更になっている箇所があります。南棟書庫をご利用の際には、京都大学蔵書検索システムKULINEで所蔵されている部屋を事前にご確認ください。

## ●選書 BOOK SELECTION

時節に応じて、テーマ別に図書の展示をしていた1Fの選書コーナーがリニューアルしました。「論文・レポート」と「進路・就職」の2本立てとし、利用者の皆様に活発にご利用いただけるよう、これからも蔵書を充実させていく予定です。ぜひご利用ください。



## ●情報リテラシー支援(ガイダンス・講習会)

図書館利用を支援するため、様々な講習会を開催しています。京都大学蔵書検索システムKULINEによる図書の探し方や、電子ジャーナルや論文データベースの使い方など高度なものまで好評です。当日の配布資料は当館Webサイトに掲載しています。

\* "The Bible in English"は、英語に翻訳された聖書を網羅したデータベース。利用者からの要望により人環・総人図書館でトライアル。

\*\* "19th Century British Library Newspapers"は、近世近代のイギリス新聞のアーカイブ。利用者からの要望により人環・総人図書館でトライアル。



# 筆記する

人間・環境学研究科 図書委員長

川島 昭夫

KAWASHIMA Akio

初めて複写機というものを使用したのは大学に入学してからのこと。いまでもよく記憶している。1970年頃で、生協での料金が一枚30円、市内のバスの乗車賃と同額であった。演習のレジュメには青焼きコピーというものを使用した。薬品の匂いのするコピー・ロールというものを使って、論文を大量に複写したこともある。いずれにせよ私は複写機第一世代であった。研究室の先輩は、図書館で一日中ノートをとった苦勞を聞かせてくれたが、私たちは機械が代行してくれた。コピーをファイルしたり製本したりした途端に一件落着し、内容をものにしたような錯覚を覚えたものである。

1987年に、英国の大学にヴィジターとして受け入れて貰った時、コピー機械が、設置している数も少なく、縮小・拡大の機能もない旧式のものであることに驚いた。学生たちは、図書館の机にしがみつこうようにしてノートに筆写していた。その光景が私にはずいぶん新鮮に映った。期間が限られていることから、それでも機械にたよって資料のコピーにつとめたが、一部だけが必要というケースでは私もまねて、できるだけノートをとるようにした。ノートはA4判で大きく、1ページびっしり書き写すだけで手首が痛くなった。機械的に筆記するだけでは、読んだつもりという効果は、コピー機の場合と大差ないような気がしたが、資料そのものに愛着が生じた。

10年後の1997年に、再度、英国の大学に滞在した時には、機械は進歩していたが、あいかわらず学生たちは机の上で格闘していた。ただしノートではなくPCに直接入力するという方法で。私は、今回は、貴重書や文書に接する機会が多かったので、ノートへの筆記につとめた。PCは持参していたのだが、ノートに蓄積されていく情報を互いに関連づけて、参照記号をつけてゆく作業が楽しかった。日本ではなかなか見つからない、硬い表紙のノートを何冊も鞆に入れてもち歩いた。南方熊楠が19世紀の末に大英博物館に日参して筆記した大量のノートを「ロンドン拔書」というが、その時に使用したのと同じ体裁

のノートが現在も販売されているのである。

それからまた10年たって、その時筆記したような古い文献が、今ではウェブから直接、あつけないダウンロードすることができる。プリント・アウトして製本すれば、たちまち貴重書のコレクションもできあがる。費用と、時間と、腕の痛みや目のかすみとを費やしてノートにささやかに作りあげたコレクションの理想的な完成形が目の前にある。誤記もなければ抹消線もない。しかしそれなのに、よそよそしいのはなぜか。

(大学院人間・環境学研究科 教授、歴史文化社会論講座)



英国滞在中に購入したノート



# 古びた書物をひらけば

西村 木綿

NISHIMURA Yuu

小さな頃から本を読むのが好きでした。学校や市の図書館に通っては、書棚に並んだ背表紙を眺め、心の赴くまま手に取り読みふけたものです。大学院での研究生活が始まってからは、そうしたなんの先入観からも自由な、偶然に身をまかせての読書はめっきり少なくなっていました。研究のためのピンポイント読書というか、選ぶ本もどんどんと専門的になっていきます。そんなわけで人環・総人図書館にはしばしば訪れるものの、主には他大学からの文献の取寄せや、入手した研究資料のマイクロフィルムを見るのにリーダーをお借りするといったかたちで利用しています。

ところでこのマイクロフィルムは、かつて東欧ユダヤ社会で活躍した社会主義組織「ブンド」の機関誌等を納めたもの。イディッシュ語資料を中心に集め、東欧ユダヤ史・文化の随一の研究機関であるYIVO (Institute for Jewish Research) から送ってもらっているものです。1925年リトアニアに設立されたYIVOは、他民族のはざまで生きた東欧ユダヤ人が特定の国家の支援を受けることなく運営した研究機関です。言語として当時まだ発展途上にあったイディッシュ語による学問体制の確立をもめざした、非常に興味深い歴史をもちます。ナチスの占領期には、それを集めた人々もろとも甚大な量の資料が破壊され失われました。現在はニューヨークにあります。以前ここで閲覧したアーカイヴは、新聞の切り抜きから手書きのメモまでを丁寧に保存したものでした。包み紙を解くだけで端からばらばらと崩れる資料を前に、歴史の重みをひしと感じました。

そんな古さと重みの感覚は、ここ人環・総人図書館でも時おり出会うことがあります。身近な例では、書庫にある岩波文庫。旧字体の古い版は附属図書館では禁帯出ですが、人環・総人図書館では貸し出してもらえるのが嬉しいところ。表紙をめくるとはずれそうな本を大切に持ち帰ると、裏表紙の内側にはずいぶん昔の

貸出記録が。黒ずみ柔らかくなった本からは、幾多の学生たちに読みつがれた手垢の重みのようなものを感じます。

研究向けの図書館や資料館は蔵書の大半を一般の人が立ち入ることのできない書庫に納めていることが多いですが、人環・総人図書館では、書庫を含め自分の目でゆっくりと眺めることができ、多くの本は多少古くても借り出すことができます。読書よりも研究へ重みが傾きがちな今の生活ですが、歴史の蓄積とともにあるこの図書館の蔵書を、ときには気ままに思う存分眺めて手に取ることを、やはり大切にしたいと思います。

(大学院人間・環境学研究科 博士後期課程)



人環・総人図書館のマイクロリーダー

# 私のお気に入り、人環・総人図書館

原田 久人

HARADA Hisato

昨年、会社を定年退職して、京大3回生に編入学させていただきました。京大での一番のお気に入りは図書館で、附属図書館のみならず、各学部や研究所ごとに特色のある図書館があって図書館めぐりをしているだけでも楽しく、これだけでも「京大に来てよかったなあ」と感激しています。特に気が休まるのは人間・環境学研究科総合人間学部図書館（以下「人環・総人図書館」）で、専門の教育学部図書室や、附属図書館での勉強で疲れてリラックスしたくなると、つつい正門をまたいで人環・総人図書館に足が向きます。なぜこの図書館でリラックスできるのか考えてみると、この図書館の持つ独特な雰囲気、開放感、雑多感、時代感があるような気がします。

まず開放感ですが、日本の図書館によくある独特の閉塞感がこの図書館には無いのです。何か街の大きな本屋にいるような、通りやキャンパスに一体化した敷居の低い感じが私の心をうきうきさせます。ドイツのハンブルグに4年間暮らしましたが、市内のアルトナというところにある市民図書館が私の休日のお気に入りの場所でした。その図書館の雰囲気が人環・総人図書館によく似ていて、そのロケーションはまさにショッピングセンターの花屋や電気屋や食堂の真ん中にあり、買い物途中の人や待ち合わせの人が、ちょっとした空き時間に本をつまみ読みしているのがオシャレでした。その感じをこの図書館は持っています。

雑多感はまさに人環・総人図書館のお家芸で、私の専攻の心理の専門書から世界各地のガイドブック、日本各地の特集本、最近の週刊誌、新刊書まで本当に雑多に幅広く何でもある感じ。「どういうコンセプトでこの図書館の本を集めているのか」と逆に心配になるくらいの広がり、驚かされ、「一体何が出てくるか」というわくわくした宝さがしのような楽しみがここにはあります。

時代感は、何と言っても地下書庫です。ここで明治・大正時代の本や、ひょっとしたらそれ以前の和綴じの本なんかをみるとあのカビ臭い、薄暗い感じと相まって「一体だれがどんな気持ちでこの本を読んだのだろうか」と一気に時代が100年ぐらい逆回りする刺激的な感じを味わえます。

最後に勝手な要望を2点加えます。1点目はスペース上難しいかもしれませんが、本棚近くでちょっと座って拾い読みできる場所がつかれないでしょうか？実はこれはアルトナの図書館のコンセプトでしたし、最近の都市部の大きな本屋も似たことをしていると思います。2点目はもっと難しいかもしれませんが、私の前の大学の早稲田の図書館のお気に入りは地下の喫茶室でした。本を読み疲れた時の一杯のコーヒーやちょっとした友人とのおしゃべりは40年後の今でも楽しい思い出として残っています。この2つの要望は図書館を堅い読書や勉強の場ということからちょっと崩して、街の通りやおしゃべりの場に本棚を置くという勝手な発想ですが、貴図書館の何かの参考になれば幸いです。

（教育学部 学部生）

## 利用のワンポイント！

人環・総人図書館では、館内での飲食・喫煙・携帯電話による通話はご遠慮いただいています。

2階ベランダのみ、ふた付き容器で飲み物を飲んだり、携帯電話で通話したりすることができます。



# いまなぜ『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』なのか

松浦 茂

MATSUURA Shigeru

人間・環境学研究科総合人間学部図書館（以下人環・総人図書館と略す）の地下書庫に入ると、整然と並んだ書棚の間に多数の漢籍をみることができる。これらの漢籍は、人間・環境学研究科が前身の舎密局（1869年創立）以来蒐集してきたものである。わたしは研究科の図書委員会から委嘱を受け、2006年以来道坂昭廣准教授らとともにその整理作業にあたってきた。その成果として、2011年3月には『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』を人間・環境学研究科から刊行することができた。

ところで最初に漢籍整理の話が来たとき、わたしはそれを引き受けることにいくぶん躊躇をした。しかし次の理由からこれを引き受けることに決めた。

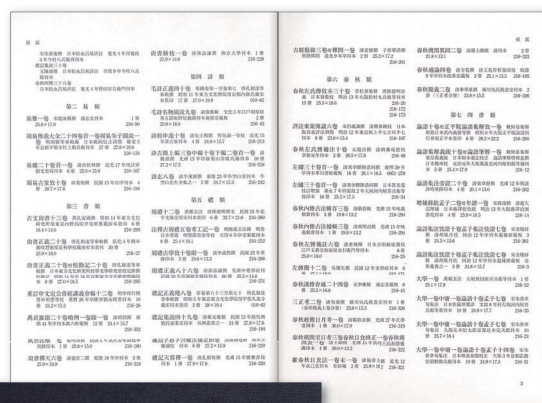
初めに、人環・総人図書館が所蔵する漢籍については、学外はもちろん学内においてもその存在を知るひとは少ない。このことは、漢籍自体の問題というより、制度の不備に原因があった。すなわち戦後研究科の前身である旧制第三高等学校が、京都大学と合同して教養部になったときに、第三高等学校の蔵書を国有財産として登録することなく、また図書カードの複製を作ってそれを附属図書館に置くこともしなかった。その結果利用者のほとんどは附属図書館の図書カードを検索しただけで、人環・総人図書館には漢籍は所蔵されていないと思ってしまったのである。

他方で、漢籍を大量に所蔵する大学図書館は、全国的にみると相当な数に達する。それらの多くはすでに何らかの目録を作成していて、本学においても附属図書館、文学研究科、人文科学研究所などは、大部な漢籍目録を刊行している。それに対して人環・総人図書館は図書カードを備えるだけで、漢籍目録を作ることはしなかった。しかし人環・総人図書館の漢籍は、現在まで目録化されずに残ったコレクションの中では最大クラスの規模をもつ。それをこのまま埋もれさせることは学問的な損失である。以上の二点から、わたしは人環・総人図書

館の漢籍を目録化、電子化して、それを公開することは大きな意義があると考えている。

そもそも人環・総人図書館の前身が明治・大正時期に蒐集した蔵書は、資料的に貴重であるだけでなく、人間・環境学研究科の歴史や、あるいは近代の教育史を考える上にも重要である。漢籍はこのような蔵書の主要な一部を構成する。『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』が刊行されたことを機会に、人環・総人図書館の蔵書全体が見直され、その活用がいつそう進むことを願う次第である。

（大学院人間・環境学研究科 教授、比較文明論講座）



## 京都大学大学院 人間・環境学研究科 漢籍目録

松浦 茂・道坂昭廣 編

京都大学大学院人間・環境学研究科



# 原典にあたる必要性

河崎 靖

KAWASAKI Yasushi

わたしたちが現在、日本でイメージする一般的なキリスト教のイメージはどのようなものでしょうか？キリスト教は今で言う中近東より生まれた信仰ですが、その頃の宗主国であったローマ帝国の版図内に徐々に広がり、北アフリカ・ヨーロッパへと次々に伝播してゆき、その過程でキリスト教はさまざまな言語圏へ広がっていくことになりました。キリスト教の歴史にとって、古代からヨーロッパ地域の文化・言語に関係したことは後年のキリスト教の歴史に重大な影響を及ぼしたのであります。ところで、日本では専らローマ字の考案者として知られるヘボン（James Curtis Hepburn, 原音通りならヘップバーン）が来日したのは1858年の開国直後。実は、このヘボンはアメリカ長老教会・外国伝道局の宣教師であり、日本キリスト教史上、大きな貢献をなした人物でありました。彼は仲間と呼ばけ「聖書」翻訳事業を開始したのです。ヘボンのように、日本にきた初期の宣教師たちが伝道を始めながら同時に行った仕事は「聖書」を日本語に訳すことであります。

さて、本題である、オリジナルのテキスト（原典）にあたるという作業の重要性に関して、「聖書」を例にとってお話してみましょう。「聖書」の全貌を扱うことは確かに難しい仕事ではありますが、ここでは、翻訳という問題を軸に「聖書」の世界を垣間見る手助けができればという思いです。皆さんが馴染んでられる英語で例証してみましょう。

古く英語の初期の頃（古英語 Old Englishと称します）、当時のテキストで、マタイ(6:9)は次のように書かれています。

Fæder ðære, þu þe eart on heofonum, (995年)

*Father our who is in heaven*

「天におられる私たちの父よ」

の箇所は、現代英語（Modern English）では、

Our father in heaven, (1970年)

「私たちの天の父よ」

となります。このテキストの対応から、英語自体の歴史に、以前は関係文で書かれたものが次第に前置詞句で表わされるようになったというプロセスを読み取ることも可能でしょう。けれどもここで注意すべきは（特に「聖書」の場合）、翻訳の元になったオリジナルの原典にあたる必要があります。すなわち、ギリシア語「聖書」とラテン語「聖書」をこの英訳テキストに引き合わせてみて、

ギリ：Πάτερ ἡμῶν ὁ ἐν τοῖς οὐρανοῖς・

*Father our the in the heaven*

ラ：Pater noster, qui es in caelis,

*Father our who is in heaven*

そもそも古英語のテキストの元になった、つまりオリジナルの原典を見極める作業が欠かせません。あるテキストがどのテキストに基づいたものなのか知る必要があるわけです。中世期には、奴隷訳とも呼ばれる原典そのまま置きなぞられただけのテキストも数多くあるからです。

ヨーロッパ諸国にあって「聖書」の影響は言語文化にはもちろんのこと、地域意識や政治にも深く波及します。これを機に「聖書」の世界に挑戦してみるのはいかがでしょうか。

（大学院人間・環境学研究科 教授、言語科学講座）

# チカラは最初から具わっている (ただし朝鮮語の場合)

小倉 紀蔵

OGURA Kizo

大学に入学した最初の学期、英語の授業のテキストがくだらないものだったのをよく覚えている。イギリスのキャンパスライフやイン(宿屋)やドッグレースなんかを紹介した薄っぺらい本だった。こんなものを読むために文学部に入ってきたわけではないとへそを曲げたが、優等生っぽい仮面をかぶった同級生たちが文句もいわずに優等生然とその本を訳読しているのを見て、同級生にも愛想がつきた。やがて大学には行かなくなり、結局留年してしまう。もちろん自分が悪いのだが、大学の外国語授業で何を読むか(読ませるか)は、知的自尊心のかたまりである学生相手ということを勘案すると、きわめて重要なことであるように思える。

京都大学に赴任して5年間、全学共通科目の朝鮮語(韓国語)を教えながら、そのことを考えつづけてきた。語学教師としての本能は、この言語をできるだけ習得しやすいように、独自に開発した教育法で、手取り足取り教えたい。実際、そうやってきた。しかし、どうも私の声が学生に届いている感じがしないのだ。手取り足取り教えれば教えるほど、学生たちが遠くへ行ってしまう。この言語にがむしゃらに食らいつくという姿勢がない。「朝鮮語のことを考えると全身がぞくぞくして夜も眠れない」とか、「絶対に韓国人と同じくらい韓国語がうまくなりたい」などという学生は、ほんとうに少ないのだ。しかし京大に来る前に教えていた大学では、そういう学生がもっとずっとたくさんいた。その大学は、入試のレベルでいえば京大よりずっと下なのにもかかわらず、だ。

その理由に気づいたのは、ようやく今年になってからだった。そして、教育方針をがらりと変えた。壁を高くしたのだ。1回生の前期から、いきなり朝鮮語のかなりむずかしい文を読ませている。定期試験問題は、ほかの大学の先生が驚くような高度な内容だったが、こちらが驚くほどの高得点を学生たちはもぎとっていった。そして2回生の後期には、韓国の本を全員で翻訳している。単なる訳読ではなく、きちんとした日本語に翻訳して、しかるべ

き出版社から単行本として刊行するという計画を立ててやっている。東京の出版社から編集者に来てもらって特別授業をしてもらい、本の作り方、売り方から「訳読と翻訳の違い」まで講義してもらった。本の内容は、現代韓国が抱えている社会的問題を、憲法・民主主義・教育・メディアなど10以上のテーマで論じているもの。かなり硬派だ。こんな難しい内容の本を大学2回生が翻訳して出版したとなると、それだけで話題になるだろう。学生たちは俄然、がむしゃらになる。

なぜこんなことができるかという、日本語と朝鮮語は文法が酷似している、日本語母語話者ならば朝鮮語を読むチカラは最初から具わっているのだ。特に朝鮮語は漢字語を多用する言語でその語彙が日本語とはほぼ同じだ。だから難しい論文調の文章であればあるほど、日本語には訳しやすい(ただ小説などは大変難しい)。それでも外国語だから一筋縄ではゆかないし、単に意味がわかるというのと、きちんとした日本語にするというのは雲泥の差がある。

かくて知的自尊心のかたまりである学生諸君は、必死に朝鮮語に食らいつくようになる。どんな本ができあがるかはまだわからないが、大いにたのしみだ。

(大学院人間・環境学研究科 准教授、人間社会論講座)

## 利用のワンポイント!

語学書のCDなど、付属資料がある図書は、付属資料と一緒に借りない場合でも自動貸出機が使えません。カウンターで貸出手続をしてください。付属資料も借りた場合、返却はブックポストではなくカウンターまでお願いします。付属資料を返さずに期限を過ぎると、図書を返却済みでも延滞となりますのでご注意ください。

# 連想された力

中森 誉之

NAKAMORI Takayuki

「原書を読むチカラ」と聞くと、通常は読解能力を想起するに違いない。英語教師でもある私は、読解技能について、専門の講義や講釈を述べ始めることになる。苦慮した結果、記憶をたどりながら思い至った「チカラ」について語りたい。

国費の貧乏留学生であった私に、最初に求められた力は、体力と精神力であった。授業で示された必読図書を一番に借りるために、図書館へ韋駄天の如く走る脚力、最大限、借り出すことができる文献を大切に抱えて帰る腕力、貸し出し期限の一晩で読み終わる気力と集中力である。

息を切らして小さな机に帰り着く。寝ても覚めても頭の中で、単語の形を成していないアルファベットが巡っている。1週間後までに読みこなしてレポートを書き口頭発表をする。学期末まで拷問のように続く原書との闘い。目眩く世界へ迷いこんで、実態のない文字列が無言で目の前を通り過ぎていく。薄暗い電灯に映る消え入る影と、問答を繰り返す。自分はなぜここにいるのか、何をしているのか、影よ、消えるな。この地に踏み留まるために、速読即解を獲得する結果となった原書を読む力である。

大学校門前の赤煉瓦造りの専門書店では、棚に並ぶのどから手が出るほど欲しい数々の本を天秤にかけ、熟考の末に絞り込んだ一冊を買った。洋書は高嶺の花であったから。動悸がするほどいい本は、その手触りとインクの匂い、執筆者の息づかいを感じ取るほど、一文字もらさずその知を読み込んだ。財力がない留学生の執念と愛情であった。

原書を読む力は教育力であることを身をもって知った出来事は、博士課程1年生の冬に訪れた。国の特別研究員に、英語教育学分野では初めて選抜された。指導教官は、お祝いに都内の洋書店へ連れて行ってくれました。「私は君に博士号を授与する年に定年を迎えます。私の全ての研究費は君への指導費に、本棚から欲しいだけ本を買おう。価格は気にしなくてもいいですよ」と、大

きなかごを4つ手渡した。かつての自分のように、財布と相談しながら一冊を選ぶことに頭を抱えている学生たちを尻目に、本棚のはじからフロアーを移動していった。本で溢れるかごを両手に抱えた先生と私は、よろめきながら悠然と書店を後にした。恩師の力入れに応えるために、むさぼるように読破して、博士論文を書き上げた。

洋書を大量に購入する癖は、毎年恒例のカatalog選びとして現在に至っている。新刊のカatalogが届くと、タイトルから面白そうな本を注文する。しかし、高価なハードカバーではなく、その値段で二冊の本を買うことができるソフトカバーを選ぶのは、貧乏時代の名残でもある。本を購入する研究費は、国力に応じてその額は変動するが、一人一人の国民が支える力によって成り立っている。教育に生かし、研究成果を国に還元すること、それが今、原書を読む力となっている。

「原書を読むチカラ」は、様々な人々に支えられた、自己を超越した見えない力によって育まれていく。知的好奇心と探究心に突き動かされた心のメカニズムに導かれて、原書を手に取る日が来ること、そしてその出会いが人生をより豊かにすることを願っている。

読解、英語学習全般については、以下の拙著(いずれもひつじ書房刊)を参照されたい。

Chunking and Instruction (2009)

<1F 教員図書 807||N||13>

『学びのための英語学習理論』2009年

<1F 教員図書 375.8||M||1>

『学びのための英語指導理論』2010年

<1F 教員図書 375.8||M||2>

(大学院人間・環境学研究科 准教授, 外国語教育論講座)



# 人間形成にとって共同体とは何か —自律を育む他律の条件—

ミネルヴァ書房, 2009年2月  
ISBN:9784623053476

岡田 敬司  
OKADA Keiji

『人間形成にとって共同体とは何か—自律を育む他律の条件』を出版してから1年半になりますが、世間の反応は芳しくありません。というより一部を除いて黙殺されてしまいました。残念ではありますが完成度からすれば、仕方のないことかもしれません。

この本の狙いは、自律的個人と共同体の関係を明らかにすることです。近代の到来と共に共同体に埋没していた個人が析出してきたという通説に従うならば、共同体は悪しき所与として初めから人間を縛り付けており、この縛りを断ち切りながら人間は個人となってきた、ということになります。共同体の絆はいわば悪です。

ところが子どもの心理・社会的な発達をつぶさに見ていくと話が逆転します。子どもは親をはじめとする共同体、友達仲間の共同体を本当に徐徐にしか作っていきませんし、そのときの絆の一つ一つは断ち切るものではなく紡いでいくものなのです。端的に言えば、歴史で語られるように共同体の絆が個人を拘束するというよりは、その絆に支えられてこそ人間は個人、自律的個人になれるということなのです。

というわけで、本書では共同体が個人を支えるさまを捉えた所説を人間諸科学の垣根を越えて参照して回り、それを子どもの心理・社会的発達の理論と突き合わせることを試みました。大家の理論や主張を編集したにすぎないといわれてしまえばそれまでですが、「自律・かわり・共同体」という人間のあり方の三様態の相互関係の解明から教育・学習の本質をとらえようとしてきた私にとっては、力足らずながら第三項に焦点を当てた唯一の作品となりました。

第二項に焦点を合わせた『かわりの教育学』は長らく教材にも使ってきましたし、増補版や続編も出したので、残された課題は第一項の「自律」です。人間がいかにして自律者になれるか、という問いは近代初頭以来の教育学のテーマなのですが、その心理・社会的機序が十分に解明もされないうちに、近年のいわゆるポス

トモダン言説によって「自律的人間などというのは近代の作り上げた虚構にすぎない」と切り捨てられかねない情勢になってきました。

定年まで2年余りとなった私の最後の課題は、この「自律者になること」の機序の解明だと思っています。「自律的であるべきだ」という議論に終始していれば、いつでも逆のイデオロギーによって否定されてしまいます。「いかに自律的になれるか」の心理・社会的機序が解明されていると、これに抵抗できます。

2004年出版の『「自律」の復権』でこの仕事を始めたのですが、イデオロギー的反撃に力を取られて、この心理・社会的機序については「蓄積・圧縮仮説」を素描したにとどまりました。来夏の出版を目指して執筆中の『自律者の育成のために—「世界の立ち上がり」の理論』では、先の蓄積・圧縮仮説をより整備して、人間の自律を可能ならしめるものとしての「世界の立ち上がり」の諸相をできるだけ詳しく多面的に記述していくつもりです。

(大学院人間・環境学研究科 教授、人間社会論講座)



371  
N  
5  
人環総人

(配置場所: 1F教員図書)

## 【関連図書】

- ①岡田敬司著. かわりの教育学. ミネルヴァ書房, 1993-  
<1F 教員図書 371|K|21>
- ②岡田敬司著. 「自律」の復権: 教育的かわりと自律を育む共同体. ミネルヴァ書房, 2004. <1F 教員図書 371|J|3>

# カエル・サンショウウオ・イモリの オタマジャクシハンドブック

関慎太郎写真, 文一総合出版, 2008年3月  
ISBN:9784829901328

松井 正文  
MATSUI Masafumi

オタマジャクシをクローズアップした、ユニークな本ですね。

でもこの本では、日本のオタマジャクシでまだ数種類、撮影できていないものがあります。私の研究室から提供した写真も1枚あります。この名前(コガタブチサンショウウオ)が出るのは、この本が初めてなんです。

目立ちにくくて撮影が大変そうですね。

幼生は、水の中を探します。成体は水から上がってきますから、石を1,000枚めくったら、1匹撮影できるというようなものです。

オタマジャクシは、卵から親になるにしたがって、だんだん形が変わっていきます。本に載せる写真は、足がどの程度生えているとか時期を統一しなければいけないけれど、この本では、大きくなった状態の写真が無かったから卵からかえったばかりのを載せているのもあります。本当は、良いことではないわけです。

この本について、工夫された点は。

「オタマジャクシ・カレンダー」や「本州産カエル幼生の検索表」ですね。

では、苦労された点は。

文字数です。限られているなかに、よくわかっているものとわかっていないものについて同じような量で書かなければならない。それと分布地図も、小さいので塗ってあるのかないのかわかりにくいところがありますね。

表紙のようにカエルとサンショウウオの幼生が一緒にいることがあるのでしょうか。

ありますよ。我々も、食べると太るでしょう。個体は体の形をある程度まで変えることができ、それを「表現型の可塑性」といいます。遺伝的ではなく二次的に変える力ですが、ある程度遺伝的に備わっている部分があります。

北海道にいるエゾアカガエルとエゾサンショウウオが春先の同じ時期に、卵を産むと、エゾサンショウウオの幼生がエゾアカガエルの幼生を食べるわけです。そのときにエゾアカガエルは、空気が入ったみたいに体がふくれて、食べられないように、サンショウウオの口に入らないくらいになるということがります。それがどうも遺伝的に決まっているらしい、と。

最後に、今後についてお聞かせください。

マレーシアとタイの、このようなオタマジャクシハンドブックを作りたいですね。それから、日本のカエルが全部載っている『日本カエル図鑑』を出したことがありますが、同じものをサンショウウオで作りたいと考えています。でもいばん出したいのは、日本のカエルのモノグラフ、すなわち総説です。どういう種類のカエルがいて、いつ記載され、どんな形でどんな生活をするといった分類学的な本です。

どうもありがとうございました。

(大学院人間・環境学研究科 教授, 自然環境動態論講座)

(インタビュー: 編集委員会)



487.8  
K  
3  
人環総人

(配置場所: 1F教員図書)

## 【関連図書】

前田憲男, 松井正文著, 日本カエル図鑑, 改訂版, 文一総合出版, 1999.  
<1F 教員図書 487.8[N]1>

# 新しい漢籍と古い漢籍 —三高蔵書の特色について—

道坂 昭廣

MICHISAKA Akihiro

本学人間・環境学研究科総合人間学部図書館に三高の蔵書が保存されており、漢籍については、松浦茂他『京都大学大学院人間・環境学研究科漢籍目録』（2010年・以下『漢籍目録』と略す）として、目録が作成された。今回機会を得たので、その中から、三高蔵書の特色を示すと思われる漢籍を二種紹介したい（以下、漢籍分類の用語について、詳しくは井波陵一『知の座標—中国目録学—』（2003年 白帝社）を参照いただきたい）。

松浦先生が『漢籍目録』「まえがき」で指摘されているように、三高では、教育のために図書が蒐集された。これから紹介する図書も、読むこと、つまりは教育の為に購入されたと考えられる。ただし、一は、新しい知識を得ることを目的とし、一は、漢詩文の教養を引き継ぐ為であったと考えられる。



『小方壺齋輿地叢鈔十二帙補編十二帙再補編十二帙』  
のうち1冊の表紙

## 『小方壺齋輿地叢鈔十二帙補編十二帙再補編十二帙』（史部・地理類）

この書は各編12帙、全84冊という大部な本である。のべ567名（8カ国40名の中国人以外の著者を含む）1438編の現代の学問領域で言えば、地理学関係の著作が収録されている。

編者王錫祺は、清の咸豊5（1855）年（日本では徳川家定將軍の安政2年）に生まれ、1913年（民国2年・日本・大正2年）に亡くなった。西洋の衝撃と称されるアヘン戦争から15年後に生まれ、ラストエンペラー溥儀が退位し、中国初の共和国成立を見て死んだことになる。彼の生涯は、欧米列強（やや遅れて日本）が相次いで進出し、その対応に中国が苦闘した時代に重なる。王錫祺は清朝の改革や逆に革命を主張したり、その為に活動するといった直接的な行動をした人ではない。しかし、この叢書を見てゆくと、彼もまた自分の生きる時代の中国に危機感を抱いていたように思われる。

この叢書は一時に出版されたものではない。正編は1877年出版で、「井の中の蛙であることを避けたい」。あるいは「同好の志に捧げる」と、中国の伝統的知識人の言説に似た序文から始まる。また、清朝安定期の文人沈徳潜（1673～1769）・袁牧（1716～97）などの古典的遊記を収録するが、一方で林則徐（1785～1850）や日本の吉田松陰にも影響を与えたことで有名な『海国図志』の著者である魏源（1794～1856）の著作から、初代駐日公使何如璋（1838～91）や薛福成（1838～94）など外国知識豊富で有能な官僚の筆記も大量に収録されている。さらに王は、1894年に補編を、続いて97年に再補編を編集出版する。それぞれ日清戦争、日清講和条約（馬関条約）締結の年である。各編の序文で彼はこれらの事件に強い衝撃を受けたことを述べている。彼は三補編も編集したが、もはや出版の余力がなかった（その残された稿本が2004年、



杭州の西冷印社から影印出版された。ちなみにこの叢書自体は1963年台湾の広文書局より影印が洋装本で出版されている)。王錫祺はこの叢書を出版のため家産を蕩尽し、窮死したという。まさにこの叢書は彼の人生そのものであったと言える。

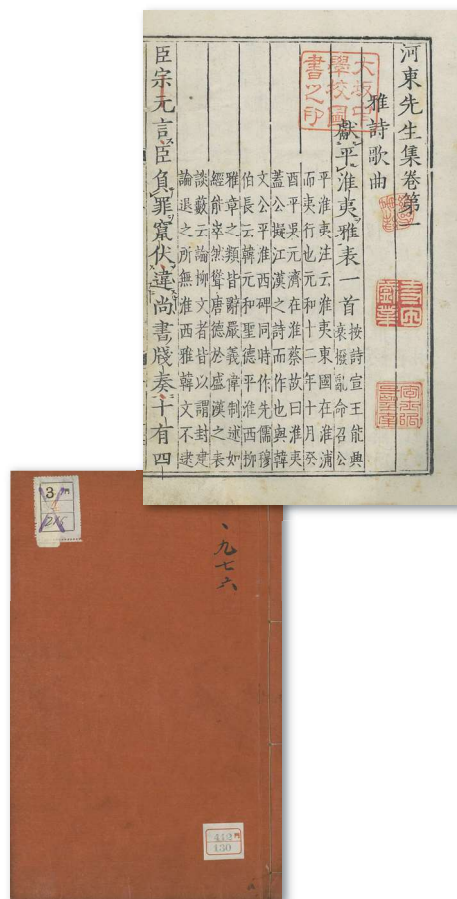
正編の最初に凡例26則が掲げられており、そのうち23則は載録の基準と順序を述べ、彼が秩序をもって世界を紹介しようとしていたことが分かる。王錫祺はエディターとして自覚をもって資料を収集選択しているのである。載録作品は、欧米やアフリカ、また日本、朝鮮、ベトナムなど周辺国の記録のほか、中国辺境の地誌を大量に収録していることが注目される。また彼は載録作品を、清朝、即ち17世紀から19世紀の著作に限定した。更にこれを子細に見ると、国内の名山などの遊覧記録である伝統的遊記は清朝前半から中期の作品が比較的多いのに対し、辺境地誌の多くは彼に近い時代の著作が多数を占める。もちろん諸外国の圧力によりそのような記録が増えたこともあるが、これらのことは彼の関心がどこに有ったかを如実に示すものであろう。

即ち、彼は遊記などを中心とした古典文学の文集ではなく、むしろ地理的記録集として、また、古典的知識を得るためではなく、むしろ同時代的知識を得ることができる叢書としてこれを編集したのである。直接的な政治活動をしたわけではなかったようであるが、彼は旧来の文人的知識人ではなく、清朝末期に登場する、救国意識をもった知識人の一人であり、この叢書の編集は彼自身の同時代へのコミットであったと言えるのではないだろうか。

その近代的な編集態度、さらには封建時代の中国において最大の地理学叢書であるにも関わらず、この叢書に対する評価はあまり高くない。その理由は、「鈔」とあるように、ここに掲載される諸作品が節録であることによる。また同時代的な記録の収集に意を注いだ分だけ、激しい変動の時代に、その情報が加速度的に古くなったとも考えられる。しかし、王がそのような読み方を期待したかどうかはさておき、例えば故吉川幸次郎博士が杜甫の蜀(四川省)滞在時の詩を理解するために網羅的に四川の地誌を読んでおられた時期、その読書のなかにこの叢書も入っていた(小南一郎「哲文研究

室の日々」(『京都大学人文科学研究所創立80周年』2009年)と語られるように、清代の地誌が集められたこの叢書は、極めて便利かつ有用なものであった。

三高の先生方がどのような観点からこの大部な叢書を購入されたかは、今となってはもちろんわからない。しかし大正15(1926)年9月14日と受け入れ印から、一つの推量が可能である。この年は、最後の出版となった再補編の序文が書かれてからわずか30年ほど後の事である。いわばこの叢書は同時代書であったのである。吉川博士と同じく読むための、三高の先生に即して言えば、新しい知識を得る為の実用書として購入されたのではないだろうか。この〈新刊〉漢籍は、三高の図書蒐集方針を示すものと言えよう。



『河東先生集四十五卷外集二卷龍城録二卷附録二卷傳一卷』の本文と、うち1冊の表紙

#### 『河東先生集四十五卷外集二卷龍城録二卷附録二卷傳一卷』(集部・別集類)

『漢籍目録』を見ると、三高蔵書の「集部」は、文学全集・文学選集にあたる「総集類」が比較的充実して

いるのに対し、個人文集である「別集類」は必ずしも充実しているとは言えない。特に宋以前の文集はより少なく、18人22部を蔵するだけである。これは、「集部」だけのことではない。『漢籍目録』全体を見ても、さまざまな著作を集めた「叢書部」が充実していること、また時代的には古い時代の漢籍より、近い時期である明清の著作・編集が多く占めるという傾向と軌を一にする。

『河東先生集』は、三高蔵書の中では余り数が多い別集類の、更にその中でも少数派である唐代の文学者柳宗元(773～819)の文学全集である。柳宗元は、言うまでも無く中国古典文学史上で重要な位置を占める文学者の一人である。特に「永州八記」と称される遊記などの不遇感を底に秘めながらも平明な自然描写は、「捕蛇者説」など世の不正を告発する文学作品とともに、現代でも多くの読者をもつ。

『小方壺齋輿地叢鈔』が同時代の書籍であったのに対し、この文集は、典型的な古籍の一つである。「大阪中学校」の蔵書印が押されており、三高蔵書のなかでも早期のものに属する。テキストとしても優れたものの一つで、手近にある厳紹璽『日藏漢籍善本書録』(2007年 中華書局)にも、京都大学教養部蔵本(情報がちょっと古い)『河東先生集四十五卷外集二卷河東先生龍城録二卷附録二卷』として著録されているのが、この文集であろう。

中国の有名な書誌学者王重民博士(1903～75)の『中国善本書提要』(1983年 上海古籍出版社)には、四十五卷本の柳宗元のテキストが二種類挙げられている。どちらも済美堂刻本、一頁九行十七字であるが、各卷末に「東呉郭雲鵬校壽梓」と有るものと、無いものがあるようである。我が三高蔵書はこの木記の無い方である。実物を確認していないが、人文科学研究所の漢籍データベースや厳紹璽博士の『書録』によると、三高と同じテキストと思われるものは、日本では他に公文書館が蔵する、幕府の学官林大学頭家旧蔵本が記録されている程度で、伝存の少ない漢籍であると思われる。しかし、当時、必ずしもこの版本に注目して購入されたというわけではなかったかもしれない。

この本には、幕末から明治の人、寺田望南の蔵書

印があり、恐らくそこから大阪中学校に入ったと考えられる。明治の頃、望南の蔵書はかなり出回っていたとされる(『国立国会図書館蔵書印譜-日本書誌学大系70』(1995年 青裳堂書店))。もちろん、彼の本ばかりでなく、明治期にはかなりの量の漢籍が古書市場に出ていたとされ、また明版といっても、当時にあつてはさほど貴重視されていたわけではなかったようである。この本は粗密の差はあるが、ほぼ全編に涉って朱点が打たれ、他書との校勘の結果などが書き込まれている。何時誰の書き込みであるかはもちろん分からないが、比較的新しいと感じられるそれらの書き込みは、まさにこの漢籍が貴重な版本としてではなく、読むための本として扱われていたことを如実に示している。

この漢籍は、明版、また集部・別集類と、三高蔵書の中で二つの点で少数に属する。極論すれば例外的存在に見えるこの漢籍にも、実は三高の読むため、そして教育のための本の蒐集という方針が示されていると言えよう。

(大学院人間・環境学研究科 准教授、歴史文化社会論講座)

#### 【推薦図書】

井波陵一著. 知の座標：中国目録学. 白帝社, 2003.  
<1F 和書 014.4|C|1>



地下書庫にある三高蔵書の一部

# 教員及び関係者寄贈図書

(2009年11月1日～2010年10月31日) ※敬称略・五十音順

寄贈者名	書 誌	配置場所	請求記号
浅野 耕太	自然資本の保全と評価 / 浅野耕太編著. - ミネルヴァ書房, 2009. - (環境ガバナンス叢書 ; 5).	1F 教員図書	519.8[S]38
阿辻 哲次 [20冊]	漢字文化の源流 / 阿辻哲次著. - 丸善, 2009. - (京大人気講義シリーズ).	1F 教員図書	821.2[K]53
	漢字と日本人の暮らし / 阿辻哲次著. - 大修館書店, 2010.3.	1F 教員図書	811.2[K]27
伊従 勉	国際沖縄研究 = IJOS: International Journal of Okinawan Studies / 琉球大学国際沖縄研究所 [編]. - 2010.3-, 1	B2 書庫	
岡 真理	ホロコーストからガザへ: パレスチナの政治経済学 / サラ・ロイ著; 岡真理, 小田切拓, 早尾貴紀編訳. - 青土社, 2009.	1F 教員図書	302.2[H]18
勝又 直也	זיכרון / זיכרון = Tahkemoni or the tales of Heman the Erzahite / by Judah Alharizi ; edited, with an introduction, commentary, and indices by Joseph Yahalom and Naoya Katsumata. -- Ben-Zvi Institute for the Study of Jewish Communities in the East, 2010	1F 教員図書	929.73[A]1
加藤 眞 [6冊]	生命は細部に宿りたまう: ミクロハビタットの小宇宙 / 加藤真著. - 岩波書店, 2010.	1F 教員図書	468[S]41
	Plant relationships / volume editor, Holger B. Deising. - hbk. -- 2nd ed. -- Springer, 2009. -- (The Mycota : a comprehensive treatise on fungi as experimental systems for basic and applied research / edited by K. Esser and P.A. Lemke ; 5).	南棟2 書庫	474.7[M]445
加藤 幹郎	表象と批評: 映画・アニメーション・漫画 / 加藤幹郎著. - 岩波書店, 2010.	1F 教員図書	704[E]4
河崎 靖	アフリカンス語への招待: その文法、語彙、発音について / 河崎靖著. - 現代書館, 2010.	1F 教員図書	849.3[A]1
佐伯 啓思	日本という「価値」 / 佐伯啓思著. - NTT出版, 2010.	1F 教員図書	304[N]34
篠原 資明	空うみのあいだ / 篠原資明著. - 思潮社, 2009.	1F 教員図書	911.5[S]7
新宮 一成	こころの病理学 / 新宮一成 [ほか]著. - 丸善, 2010. - (京大人気講義シリーズ).	1F 教員図書	493.7[K]47
富田 恭彦	科学哲学者柏木達彦のプラトン講義 / 富田恭彦 [著]. - 角川学芸出版, 2009. - (角川文庫 ; 16062).	1F 教員図書	104[K]37
中西 輝政 [8冊]	乃木希典: 日本人への警醒 / 中西輝政著. - 国書刊行会, 2010.	1F 教員図書	289.1[N]51
	アメリカの不運、日本の不幸: 民意と政権交代が国を滅ぼす / 中西輝政著. - 幻冬舎, 2010.	1F 教員図書	312.1[A]2
西山 良平	恒久の都平安京 / 西山良平, 鈴木久男編. - 吉川弘文館, 2010. - (古代の都 ; 3).	1F 教員図書	210.3[K]1843
廣野 由美子	エリザベス・ギヤスケルとイギリス文学の伝統: 生誕200年記念 / 日本ギヤスケル協会編著. - 大阪教育図書, 2010.9.	1F 和書	930.2[E]25
福岡 和子	悪夢への変貌: 作家たちの見たアメリカ / 福岡和子, 高野泰志編著; 丹羽隆昭 [ほか]著. - 松籟社, 2010.	1F 教員図書	930.2[A]91
松浦 茂 [12冊]	アジア史学論集 / 京都大学大学院人間・環境学研究科松浦茂研究室 [編]. - Vol. 1 (2008.2). - 京都大学大学院人間・環境学研究科松浦茂研究室, 2008. ,vol.3	B2 書庫	P[A]
	回疆志 / (清)永貴撰. - 書寫版. - 京都大学文学部羽田記念館中央アジア研究会, 1984.	B2 書庫	292.2[K]37
山梨 正明	言語科学論集 = Papers in linguistic science / 京都大学総合人間学部基礎科学情報科学講座編集, v. 15	1F 雑誌	
Becker, Carl B. [2冊]	愛する者の死とどう向き合うか: 悲嘆の癒し / カール・ベッカー編著; 山本佳世子訳. - 晃洋書房, 2009. - (京都大学こころの未来研究センターこころの未来叢書 / 京都大学こころの未来研究センター [編]).	1F 教員図書	114.2[A]1

※3冊以上ご寄贈の場合、2冊まで掲載させて頂いておりますのでご了承ください。

## 教員及び関係者図書コーナー(1F)

本研究科教員・関係者の著書を配架しています。  
(KULINEの配置場所: 1F 教員図書)

上梓されましたときはご惠贈くださいますようお願いいたします。





# British Periodicals Collection

人間・環境学研究科では、平成22年度大型コレクションとして、データベース”British Periodicals Collection”を導入しました。

British Periodicals (ProQuest社) は、日本では入手しにくい、17世紀から20世紀初期のイギリスの定期刊行物(雑誌)500タイトル以上に掲載された記事・論文の全文イメージ(600万ページ以上)を読むことができるデータベースです。イギリス研究の基本的研究を詳細かつ網羅的に行うのに適したデータベースです。

The screenshot displays the British Periodicals Collection interface. The search bar at the top contains the keyword 'shakespeare'. Below the search bar, the 'ARTICLE SEARCH RESULTS' section shows 73 articles found. The first result, 'THE ETERNAL SHAKESPEARE', is highlighted. A red box around the article title is labeled with a circled '2'. A red box around the 'Article Image' link is labeled with a circled '3'. A red box around the search bar is labeled with a circled '1'. A red box around the article title in the detailed view is labeled with a circled '4'. A red arrow points from the 'Article Image' link to the detailed view of the article.

① 検索語を入力  
② Article Titleをクリック  
③ Article Imageをクリック  
④ 検索語がハイライトされる

ご利用はデータベースリストから

図書館機構ホームページ ▶ 資料検索 ▶ データベース ▶ B

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaidb.html>

KULINE/電子ジャーナルリストからも雑誌タイトルで検索できます

<https://op.kulib.kyoto-u.ac.jp/webopac/>

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaiej.html>

# 論文を効率的に探して手に入れるには

論文やレポートを書くには、先行研究の論文を限なくチェックし、読む必要があります。ここでは、必要な論文を効率的に探して手に入れる方法をご紹介します。

本を探すにはKULINEを使いますが、論文を探すには様々な論文データベース（例えば、CiNiiやWeb of Science）を使います。データベースリストには100以上のデータベースが掲載されています。

## データベースリスト

図書館機構ホームページ ▶ 資料検索 ▶ データベース

KULINE ▶ 左メニュー[電子リソース] ▶ データベース

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaidb.html>



ただ、数多くのデータベースがあるので、読まなければならない論文を探し切るには、何度もデータベースを検索し直す必要があります。

こういった時、便利に使えるのが論文統合検索ツール”KU ArticleSearch”です。KU ArticleSearchは、複数のデータベースを一気に検索することができます。

## KU ArticleSearch

図書館機構ホームページ ▶ 資料検索 ▶ KU ArticleSearch(論文統合検索)

KULINE ▶ 左メニュー[電子リソース] ▶ 論文検索

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaias.html>



## ○論文を検索する




- ③ 検索対象DBは予めよく使われる6DBが設定されています  
CINI / JAIRO / JSTAGE = 日本語論文のDB  
Web of Science / PubMed / Scopus = 主要ジャーナルの論文DB
- ④ 分野ごとなどにデータベースを追加することができます
- ⑤ または、「詳細検索」でDBを1つずつ追加することもできます(最大50DB)

## ○論文本文(フルテキストPDF)を入手する



- ⑦ 検索結果を絞り込むことができます  
トピック(キーワード)、日付(発表年)、著者(著者名)、雑誌(掲載ジャーナル名)、Results by Source(収録DB)
- ⑧ 検索結果を並び替えることができます

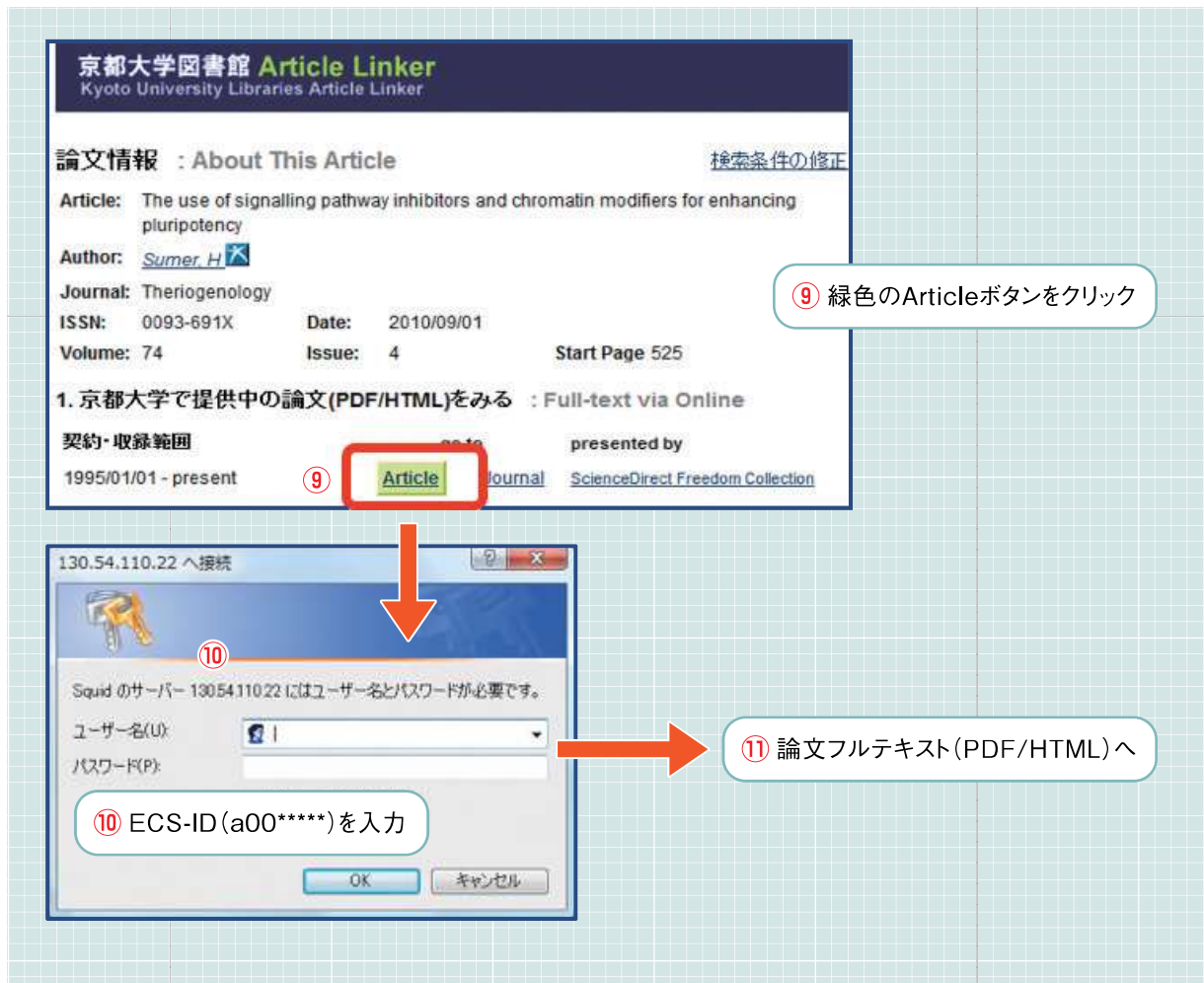


京大ArticleLinker… 

Web of ScienceやCiNii等の論文データベース等の検索結果から、お探しの雑誌記事本文のフルテキスト(PDF/HTML)へとナビゲーションを行う論文リンクツールです。

詳しい使い方は…電子リソースヘルプ:論文リンクツール「京大ArticleLinker」を使う

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/erhelp/al.html>



京都大学図書館 Article Linker  
Kyoto University Libraries Article Linker

論文情報 : About This Article 検索条件の修正

Article: The use of signalling pathway inhibitors and chromatin modifiers for enhancing pluripotency  
Author: [Sumer, H](#)  
Journal: Theriogenology  
ISSN: 0093-691X Date: 2010/09/01  
Volume: 74 Issue: 4 Start Page 525

1. 京都大学で提供中の論文(PDF/HTML)をみる : Full-text via Online

契約・収録範囲 1995/01/01 - present Article Journal ScienceDirect Freedom Collection

⑨ 緑色のArticleボタンをクリック

130.54.110.22 へ接続

⑩ Squid のサーバー 130.54.110.22 にはユーザー名とパスワードが必要です。

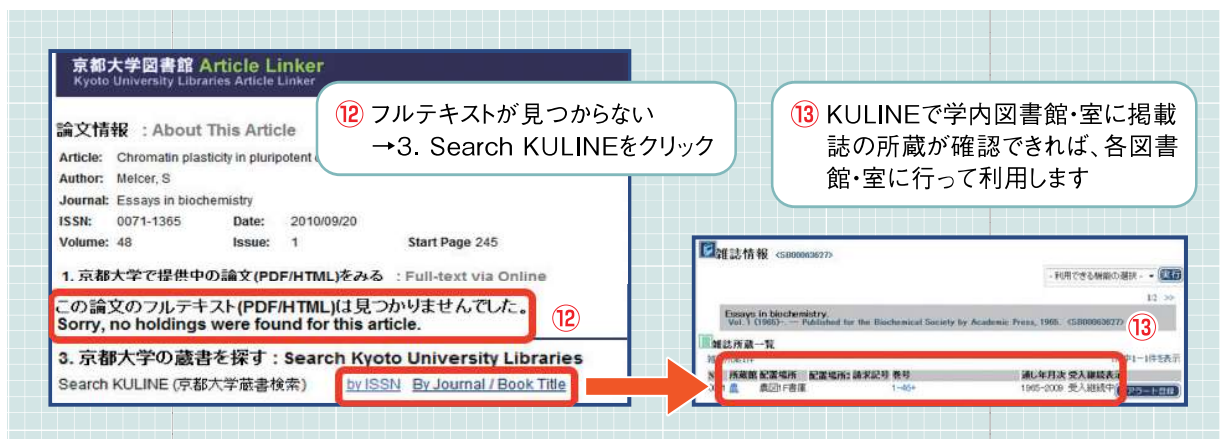
ユーザー名(U):   
パスワード(P):

⑩ ECS-ID(a00\*\*\*\*\*)を入力

⑪ 論文フルテキスト(PDF/HTML)へ

## ○フルテキストが利用できない場合

(1) 論文本文(フルテキストPDF)が電子ジャーナルで利用できない場合、掲載誌が冊子体として京大内に所蔵されていないかどうか確認します。



京都大学図書館 Article Linker  
Kyoto University Libraries Article Linker

論文情報 : About This Article

Article: Chromatin plasticity in pluripotent  
Author: Melcer, S  
Journal: Essays in biochemistry  
ISSN: 0071-1365 Date: 2010/09/20  
Volume: 48 Issue: 1 Start Page 245

1. 京都大学で提供中の論文(PDF/HTML)をみる : Full-text via Online

この論文のフルテキスト(PDF/HTML)は見つかりませんでした。  
Sorry, no holdings were found for this article. ⑫

3. 京都大学の蔵書を探す : Search Kyoto University Libraries

Search KULINE (京都大学蔵書検索) by ISSN By Journal / Book Title

⑫ フルテキストが見つからない  
→3. Search KULINEをクリック

⑬ KULINEで学内図書館・室に掲載誌の所蔵が確認できれば、各図書館・室に行って利用します

雑誌情報 <S00063627>

Essays in biochemistry  
Vol. 1 (1965)- Published for the Biochemical Society by Academic Press, 1965. <S00063627>

雑誌所蔵一覧

所蔵館 配置場所 配置場所 請求記号 巻号 通し年次 受入継続状況  
農学 農学F 農学F 1-40+ 1965-2008 受入継続中

(2)掲載誌が京大内に所蔵されていない場合、また、遠隔地キャンパス(宇治、桂など)に所蔵されている場合には、文献のコピーを取り寄せることができます(有料)。

**4. 文献の取り寄せを申し込む : Request This Article via ILL**  
 京都大学に所蔵されていない文献を取り寄せる ⑭ **申し込む (Submit)**

⑮ 検索結果(外部データ連携)画面の「複写申し込み」をクリック

⑯ 複写依頼  
この資料が入手できない場合は、他の図書館から文献を取り寄せることができます(学内・学外とも有料)。

⑰ 利用者認証  
ECS-ID (例: a00\*\*\*\*\*)ある人はSPS-ID (教職員グループウェア用ID)例  
ID : a00\*\*\*\*  
Password :   
**ログイン**

⑱ ILL複写依頼 - 依頼情報の入力  
依頼情報の入力  
以下の情報を入力し、申し込みボタンを押してください。  
●以下の資料情報を入力(確認してください)。  
論文著者名: S Melcer  
論文名: Chromatin plasticity in pluripotent cells.  
\*タイトル: Essays in biochemistry  
ISSN: 00711365  
巻号等: 48(1) 出版年(西暦): 20100920  
ページ: 245- **申し込み**

⑲ MyKULINE「ILL複写依頼」画面で論文情報等を入力し「申し込み」  
 \*京大ArticleLinker経由の場合、論文情報は自動的に入力されます

KU ArticleSearchや電子ジャーナル・データベースは学内からのみ検索可能です

ただし、自宅でお使いのPCにKUINS-PPTP接続サービスの設定をすれば、学外からも検索することが可能になります



KU ArticleSearch画面右上 ▶ 学外から電子リソースを使う

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/er-remote.html>

論文の探し方、入手の仕方で分からないことがあれば...

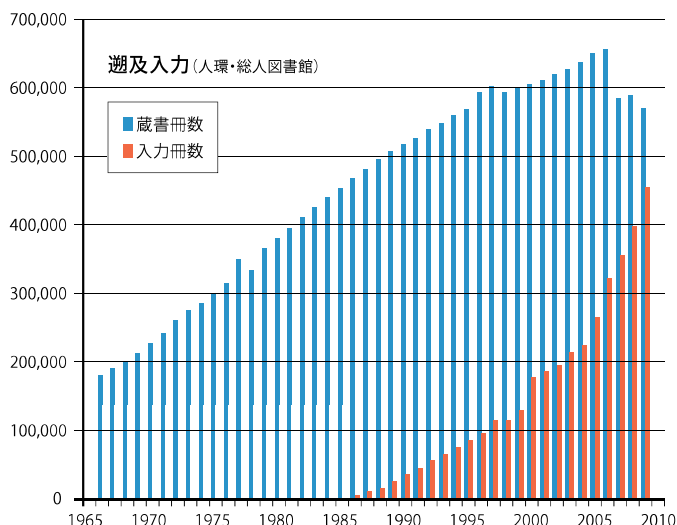
人環・総人図書館カウンターまで

# 遡及入力事業について

## ■あと一息!

その昔、本の在処を調べるには目録カードを一枚一枚繰って探すしかありませんでした。

1985年頃から目録のデータベース化を開始していますが、未だに全てを入力するに至っていません。でもあと一息です。担当者が各研究室を訪問して資産図書の遡及入力を行っています。未入力の資料がありましたら訪問いたしますのでご一報ください。せっかく蓄積した蔵書をインターネットで公開し、KULINEで検索し予約・貸出しができるようになるまで頑張ります。(右記グラフ参照)



## ■三高図書も入力開始

人間・環境学研究所総合人間学部図書館は、第三高等学校、そのまた前身である舎密局など150年前からの歴史ある資料をたくさん所蔵しています。古典籍など特に貴重なものが多く、これらを京都大学の蔵書として正しく承継するために目録データベースへの入力も開始しました。既に1万冊を入力、請求記号の4段目に「三高和」や「三高洋」と記載されたものが出てきたらその一冊です。お宝資料が次々に出てきます。ご注目ください。

### 情報収集ワンポイント!

#### Q. 学内の図書館・室で所蔵している新聞のタイトルを調べるには?

人環・総人図書館を含め、学内の図書館・室で所蔵している新聞のタイトルは、図書館機構のホームページで確認できます。

図書館機構ホームページ ▶ 資料検索 ▶ 新聞 ※現在学内で購読中の新聞リスト…国内発行紙、海外発行紙

[http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/search/index.php?content\\_id=1](http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/modules/search/index.php?content_id=1)



また学内のパソコンからは、新聞記事データベースで、国内主要紙や世界の新聞記事を検索・閲覧することができます。

- ① 図書館機構ホームページ ▶ 資料検索 ▶ 新聞 ▶ データベース:新聞 [学内限定]
- ② KULINE ▶ 左メニュー[電子リソース] ▶ データベース ▶ 資料タイプ別リスト > 新聞・ニュース

<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/gakunaidb.html>



ログイン数が限られたデータベースもありますので、利用後は必ず「ログアウト」してください。



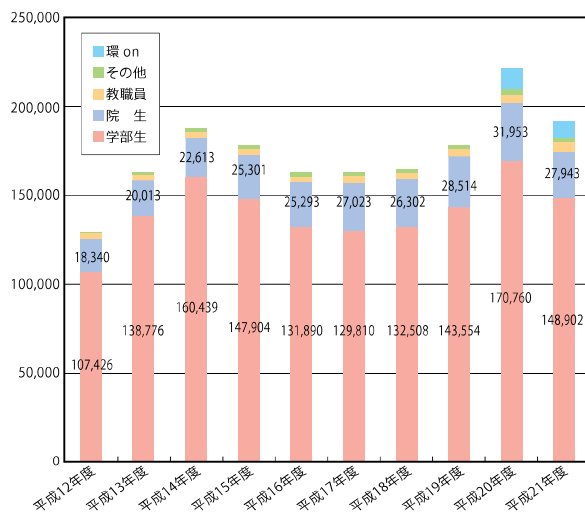
# 図書館統計

蔵書冊数 (平成22年3月末現在)	利用対象者数 (平成22年5月1日現在)								
568,145冊 (和書) 301,944冊 (洋書) 266,201冊	<table> <tr> <td>全学共通教育学生(1・2回生)</td><td>5,946人</td></tr> <tr> <td>総合人間学部学生</td><td>584人</td></tr> <tr> <td>人間環境学研究科学生</td><td>743人</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>246人</td></tr> </table>	全学共通教育学生(1・2回生)	5,946人	総合人間学部学生	584人	人間環境学研究科学生	743人	教職員	246人
全学共通教育学生(1・2回生)	5,946人								
総合人間学部学生	584人								
人間環境学研究科学生	743人								
教職員	246人								

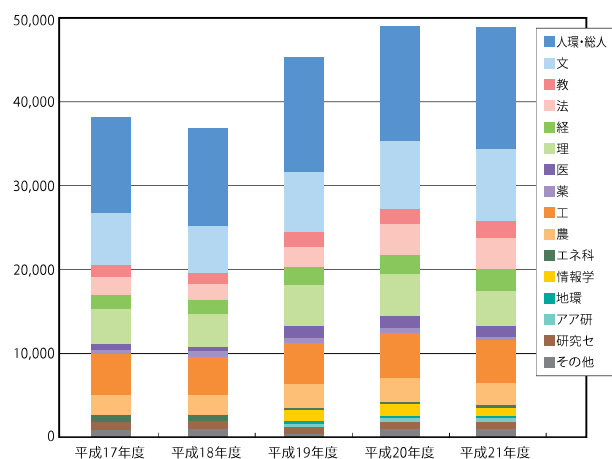
平成21(2009)年度 入館・貸出

	入館者数	貸出冊数
学部生	148,902人	43,143冊 (55.1%)
院 生	27,943人	27,833冊 (35.6%)
教職員	5,092人	6,083冊 (7.8%)
その他	1,906人	1,173冊 (1.5%)
計	183,843人	78,232冊* (100%)

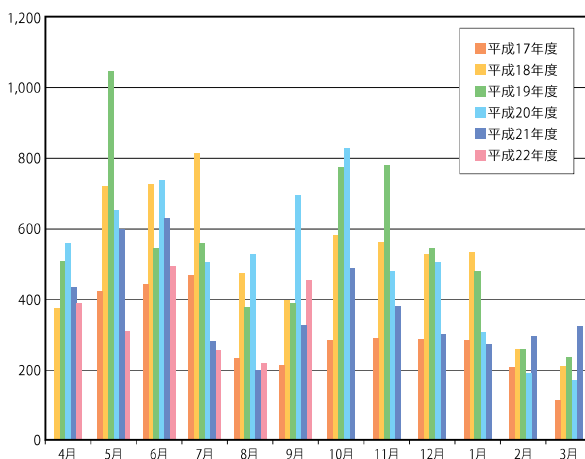
	貸出人数	貸出冊数 (合計*に対する割合)
学部生のうち全学共通教育学生(1・2回生)	15,263人	25,159冊 (32%)



入館者数の推移  
(平成12年度～平成21年度)

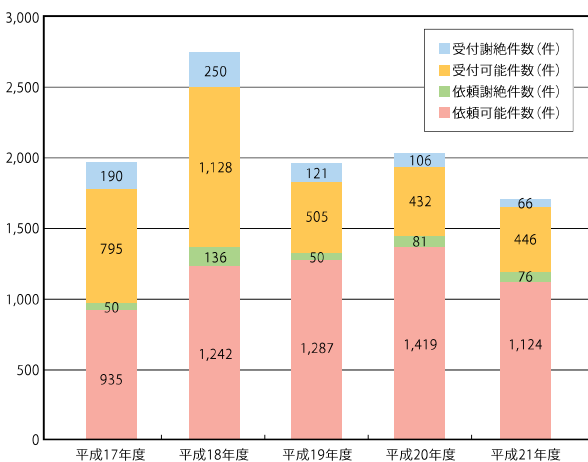


部局別貸出人数の推移  
(平成17年度～平成21年度)

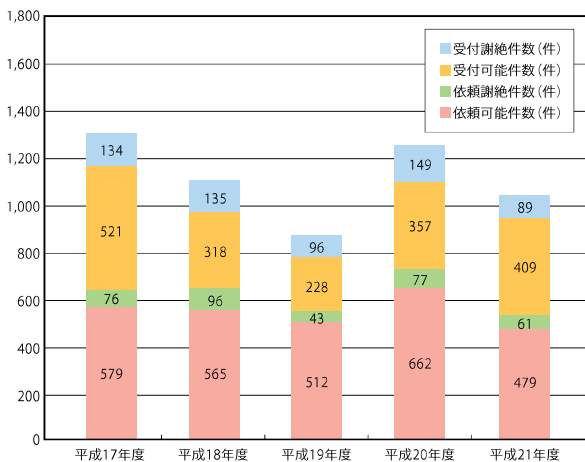


MAGAZINEPLUS検索回数  
(平成17年5月～平成22年9月)

\* 人環・総人図書館が契約している雑誌記事索引を中心とする日本語論文の書誌データベース



文献複写処理件数の推移  
(平成17年度～平成21年度)



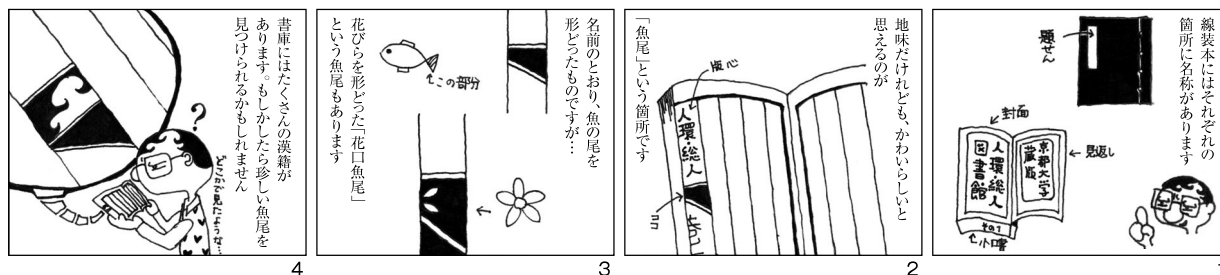
現物貸借処理件数の推移  
(平成17年度～平成21年度)

# 貸出回数ランキング

期間：2009年10月01日～2010年09月30日

順位	貸出回数	簡略書誌情報
1	1117	地球の歩き方 / 地球の歩き方編集室著作編集. -- ダイアモンド・ビッグ社.
2	61	上撰の旅. -- 1. 札幌・道東・道北 - 33. 沖縄. -- 昭文社, 1999-2001.
3	54	アトキンス物理化学 / P.W.Atkins著 ; 千原秀昭, 中村亘男訳. -- 上, 下. -- 第6版. -- 東京化学同人, 2001.
3	54	TOEICテスト新公式問題集 / Educational Testing Service著 ; 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会編. -- [Vol. 1] - Vol. 4. -- 国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会, 2005.
4	52	有機化学 / John McMurry著 ; 伊東椒 [ほか] 訳. -- 上, 中, 下. -- 第7版. -- 東京化学同人, 2009.
5	47	西田幾多郎全集 / 西田幾多郎著 ; 竹田篤司 [ほか] 編集. -- 第1巻 - 第24巻. -- 岩波書店, 2002.
6	38	TOEICテスト新・最強トリプル模試 : New Version対応の模試を3回分収録 / 中村紳一郎 [ほか] 著. -- [1], 2, 3 : 解答・解説編. -- ジャパンタイムズ, 2006.
7	36	アトキンス物理化学 / Peter Atkins, Julio de Paula著 ; 千原秀昭, 中村亘男訳. -- 上, 下. -- 第8版. -- 東京化学同人, 2009.
8	34	解析入門 / 杉浦光夫著. -- 1, 2. -- 東京大学出版会, 1980. -- (基礎数学 ; 2-3).
9	33	電磁気学 / ファインマン, レイトン, サンズ [著] ; 宮島龍興訳. -- : 新装. -- 岩波書店, 1986. -- (ファインマン物理学 / ファインマン, レイトン, サンズ [著] ; 3).
10	32	ハリー・ポッターと死の秘宝 / J.K.ローリング作 ; 松岡佑子訳. -- : セット, 上, 下. -- 静山社, 2008.
11	31	罪と罰 / ドストエフスキー作 ; 江川卓訳. -- 上, 中, 下. -- 岩波書店, 1999. -- (岩波文庫 ; 赤(32)-613-5-7).
12	30	電磁気学 / J. D. ジャクソン著 ; 西田稔訳. -- 上, 下. -- 吉岡書店, 2002. -- (物理学叢書 / 小谷正雄 [ほか] 編 ; 90, 92).
13	29	ねじまき鳥クロニクル / 村上春樹著. -- 第1部 : 泥棒かささぎ編, 第2部 : 予言する鳥編, 第3部 : 鳥刺し男編. -- 新潮社, 1997.10. -- (新潮文庫 ; む-5-11 ~ む-5-13).
14	28	ラヴクラフト全集 / H.P.ラヴクラフト著 ; 大瀧啓裕[ほか]訳. -- 1 - 6. -- 東京創元社, 1974.12-1989.11. -- (創元推理文庫 ; 523-1 ~ 6).
14	28	海辺のカフカ / 村上春樹 [著]. -- 上, 下. -- 新潮社, 2002.9.
15	27	シュライバー・アトキンス無機化学 / P.Atkins [ほか] 著 ; 田中勝久, 平尾一之, 北川進訳. -- 上, 下. -- 第4版. -- 東京化学同人, 2008.
15	27	微分積分学 / 笠原皓司著. -- サイエンス社, 1974. -- (サイエンスライブラリ数学 ; 12).
16	26	深夜特急 / 沢木耕太郎著. -- 1 香港・マカオ - 6 南ヨーロッパ・ロンドン. -- 新潮社, 1994.3-1994.6. -- (新潮文庫 ; さ, 7, 5-10).
16	26	文藝時評大系 / 中島国彦編. -- 明治篇 第1巻 - 昭和篇3 第12巻. -- ゆまに書房, 2005.

## ●人環・総人図書館物語



本誌名『かりん』は、図書館前の樹木、カリンに由来します。

【表紙】 図版『圖像三國志演義』 当館蔵 <416Ⅲ6>

# 京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館 (人環・総人図書館)

Library of the Graduate School of Human and Environmental Studies and  
The Faculty of Integrated Human Studies ( Jinkan-Soujin Library ), Kyoto University



## 人間・環境学研究科総合人間学部図書館

開館時間 月-金 / 9:00-20:00  
土 / 10:00-15:00



<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/heslib/>

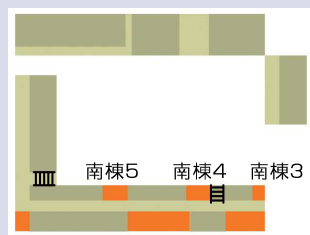


## 環on (人間・環境学研究科棟 1階)

開室時間 月-金 / 9:00-17:00



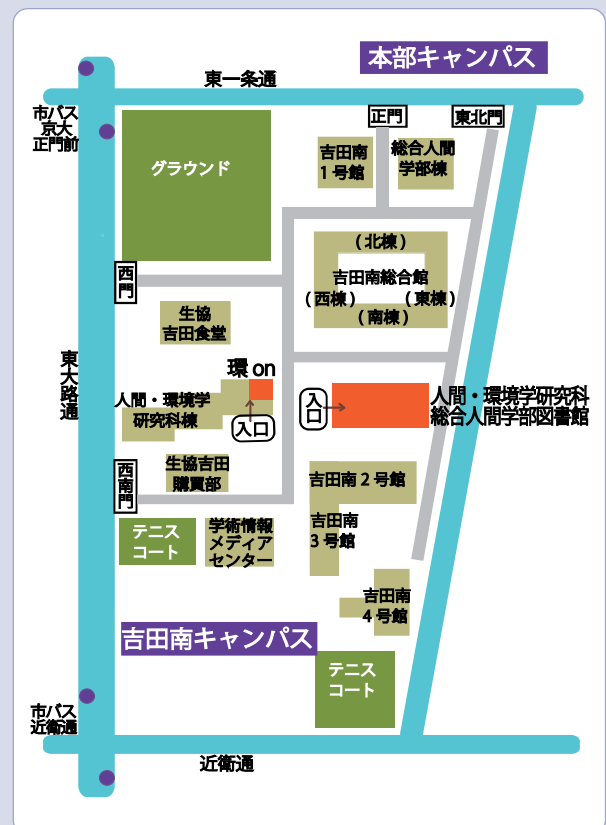
南棟1 書庫



南棟6 南棟1 南棟2

## 吉田南総合館 地階

南棟1 書庫	12,18号室	利用時間 月-金 / 9:00-18:45 入庫手続き要
南棟2 書庫	24号室	
南棟3 書庫	26-2号室	
南棟4 書庫	21号室	
南棟5 書庫	11号室	
南棟6 書庫	61号室	



発行 2010年12月1日 (年1回)

編集・発行 京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館  
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町  
TEL: 075-753-6524, 6525  
FAX: 075-753-6896  
E-mail: eturan61@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

かりん：京都大学人間・環境学研究科  
総合人間学部図書館報 第3号